

風の流氷

◆一般投稿作品◆

岡崎桜雲 選

大雨が降りて野蒜の味よろし
野いちごや失意知つてか雨に咲く
ゼラニウム男やもめに親二人
在りし日の父の居場所初童
花冷えの今朝の奥山白く見ゆ
目閉れば呑み込まれさう夜の桜
学び舎を遠く訪ねて花盛り
庭散歩を見付けて歩幅変え
星冴えて時止めるごとく眠りつく
初売りへ来たが買う物もうなくて
散る花の菓子とまがいし野点かな
夕焼けのスポットで舞う鯉織り
畑打や風船のごとガマの腹
児らの名が空泳ぎたり青葉風
渡御太鼓帰りに来たる音疲れ
公舎跡青葉若葉の物部川
新芽見て植え置きし物思ひ出し
池の空鯉が泳いで大日寺

◆かがみ野俳句会◆

花冷や改元一瞬固唾呑む
忘れしを笑ひでかくす四月馬鹿
百歳に足らぬ二日のカーネーション
夕映えや代田に写る己が影
咲き充ちて耀ふ花に深空あり

古川 信子
利根 弘子
山崎 鈴子
坂元 道子
佐竹 洋子

◆美良布俳句会◆

永き日や夕刊届く午後三時
傘をさす程にもあらず藤の花
花蛇の羽音眠たき峡の昼
春眠や夢の亡き人物言はず
朝桜西から雨の近づけり
一番茶大釜に今弾けおり
艶めきて真紅の牡丹傘の中
七色の絵の具使いし春の山
慈雨賜ひ田に水張りて針仕事
のどけしやラジオ体操鳴らしあり

◆かほく俳句会◆

種詩くや唇に借りる知恵いくつ
風吹けば扉に顔出す猫柳
酔を打ちて飯のかがやく桜どき
畦塗りの手順さびしく教えられ
土佐訃一ト際高し遍路宿
ときめきて春の闇より抜け出づる
四月馬鹿たががはずれる日なりけり
座りたる場所が極楽花筵
花万葉老いて煙のごときかな
桜咲く熱燗のよき老夫婦
ひたすらに生きし平成花ふぶき
絵手紙よりこぼれ落ちたる桜かな
芝桜波打つように拡がりぬ
雛飾り明るさ戻る老の家
箸取れば海の香りの白魚弁
種を継ぐ役なり庭の花いちご

乾 真紀子
奥宮かなえ
黒岩千英子
小松 隆之
小松 昇
杉山 春萌
野村 里史
津田吾燈人
前田 欣一
前田 智
間崎 和代
宮崎ただし
森本 之子
山中 明石
山中 節子
山崎かずみ

◆土佐山田町俳句会◆

駅前前の自転車置場さくら散る
春の虹すぐ真後ろにブラックホール
桜しべ降る行方知れずの山の神
遠くからへりの轟音山桜
新茶汲む骨の髄まで日本人
鎌を研ぐ砥石の乾く木の芽晴

◆今月のキラリ◆ 広報委員会

野いちごや失意知つてか雨に咲く
『莓』は夏の季語であるが、野いちごは春に
五弁の白い花を咲かせる。まだうそ寒い春の
雨に咲く純白で清楚なこの花を愛しく、『失
意』と詠んだのである。
散る花の菓子とまがいし野点かな
花は桜。野点は野外で行う茶の湯。満開の花
の下、添えられた茶請けの菓子までも春色い
っぱいの佳景の中のお茶会である。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。
【投稿先】 総務課内広報委員会事務局 俳句・短歌 係 782-8501 (住所記載不要) FAX 53・5958

香美市立美術館

アートの窓



▲サイバラ水産

香美市立美術館では、企画展として西原理恵子展 人生はおきやくを開催します。

西原理恵子は1964年に高知市に生まれ、武蔵野美術大学に入学し、在学中より漫画家を目指して活動を続け、1988年に週刊ヤングサンデーちくる幼稚園でデビューしています。卒業後も次々と漫画の連載が続く、1997年にぼくんちで文藝春秋漫画賞、2005年に毎日かあさん(カニ母編)で文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞など数々受賞され、その作品が多くの人々に愛されてきました。

西原理恵子展 人生はおきやく 6月8日(土)～7月28日(日) 休館日：毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)



▲ああ息子

西原理恵子自身は波乱に富む人生も重ねられていて多くの共感を呼んでいます。このように、デビュー以来次々と話題作を生み出し、文筆家、絵本作家としても活躍している西原理恵子の魅力を、その原点とも言えるふるさと高知のおきやく文化を通して伝える展示です。

西原理恵子が作品を通して伝えたい現代社会の問題や、それを生きぬいていくための知恵や勇気を皆さまにお届けします。ぜひこの機会に西原理恵子の世界を原画やフィギュアとあわせて楽しんでいただきたいです。

【日時】 6月22日(土) 14時00分～ コンサート
【場所】 猪野々集会所
【入場料】 無料

吉井勇記念館だより

紫陽花コンサート

橋ハーモニカクラブの皆さんによるハーモニカアンサンブルのコンサートを開催します。吉井勇作詞のゴンドラの唄をはじめ、懐かしい歌謡曲・童謡などが演奏されます。

勇の歌碑の紹介

大土佐の海を見むとてうつらうつら 桂の濱にわれは来にけり 桂浜歌碑
長絶え間なく石したたりてある程に 百千劫はいつか経にけむ 龍河洞歌碑
空海とたのみまぬらすこころもて 是るばる土佐の國へ来にけり 室戸岬東寺歌碑

この他にも、猪野々はも されており、勇の歌が広く
ちろん、筆山、魚梁瀬、沖 愛されていることが分かり
の島、叶崎にも歌碑が建立 ます。

◆問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220